

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年09月02日

計画の名称	寒川町における快適な街づくりに貢献する下水道（第2期）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	寒川町												
計画の目標	下水道整備により安全・安心・快適な住環境を実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	190	A	190	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	下水道処理人口普及率を92.8%（H28）から93.3%（R2）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	93%	93%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（ 污水）	新設	汚水処理整備構想策定(A-1)	寒川町汚水処理整備構想策定	寒川町	■					4		策定中	
	A07-002	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（ 污水）	新設	小谷小動幹線（未普及解消）(A-2)	L=0.3km	寒川町					■	38		—	
	A07-003	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（ 污水）	新設	大村旭幹線（未普及解消）(A-3)	L=0.8km	寒川町	■	■	■	■	■	148		—	
	A07-004	下水道	一般	寒川町	直接	-	管渠（ 污水）	新設	一之宮西幹線（未普及解消）(A-4)	L=0.8km	寒川町	■	■	■	■	■	0		—	
												小計						190		
												合計						190		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

寒川町下水道運営審議会で実施する。

事後評価の実施時期

令和3年度

公表の方法

町のホームページに掲載予定

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

- ・汚水処理整備構想として、汚水処理施設の早期普及のため、整備計画を作成するために必要な図書を作成した。
- ・汚水幹線枝整備は、一部実施できない事業もあったが、0.9kmの整備が進み、下水道人口普及率の向上に貢献できた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

財政状況の厳しい中、公共水域の保全のため、下水道処理人口普及率の向上に向け、町の下水道事業計画に基づき、未普及解消の促進に向け継続的に事業を実施します。  
汚水処理整備構想については、関係機関との調整を行い、整備計画の策定を進めます。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率を92.8%（H28）から93.3%（R2）に増加させる	
	最終目標値	93%
	最終実績値	93%
		未普及解消事業として、汚水幹線枝線整備を0.9km実施することができた。

計画の名称	寒川町における快適な街づくりに貢献する下水道（第2期）		1/1
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度（5年間）	交付対象	寒川町

寒川町公共下水道計画一般図（污水）

